

20春闘開始動！ 8時間働けば暮らせる社会をつくらう！

20けんり春闘は昨年11月29日発足集会を開催し、「貧困・格差・差別を許さない！8時間働けば暮らせる社会を！誰でもどこでも時給1500円以上、月額25万円以上」の実現をもとめて闘う方針を確認した。

今回特筆すべきは、学習会で「SDGs（持続可能な開発目標）」について講演（講師は稲葉雅紀氏・市民社会政策ネットワーク政策担当顧問）を受けたことだ。

最近電車内でサラリーマンの背広の襟もとにカラフルな円形や四角のバッジを多く見かけるようになった。

これこそSDGsのバッジだ。SDGsとは2015年9月に国連で採択された2030年末に向けた世界の指針「持続可能な国際目標」だ。

環境、貧困、紛争など人類が直面する諸問題に対し、国際社会が取り組む



2019年11月29日、20けんり春闘発足総会

べき目標を定め、将来の世代によりよい暮らし、よりよい地球を残そうとする指針だ。

具体的には17の目標があり、その中に169の具体的な目標が掲げられている。目標1は貧困をなくそう、目標5はジェンダー平等の実現、目標8は働きがいも経済成長も等だ。日本も含めて193カ国が賛同しているが、アベ政権の取る政策は全くちぐはぐだ。「女性活躍」と言いながら2019年の日本のジェンダーギャップ指数は過去最低の121位（153カ国中）で、イスラム諸国と肩を並べている。

講演で稲葉氏は、労働組合には賃上げや労働条件の向上確立など本来の労働組合の役割強化が必要で、持続可能な生産と消費の実践、企業の社会的責任についての追及が求められているとエールを送ってくれた。

ネットでSDGsを検索してみよう！
全労協は1月17日に旗ひらきを開催、

20けんり春闘行動予定

- 2月14日（金）東京総行動総務省前
 - 2月14日（金）けんり春闘行動経団連前
 - 2月15日（土）西日本春闘討論集会（大阪、～16日）
 - 2月19日（水）全労協脱原発集会全水道会館
 - 2月19日（水）第53回「19日行動」衆2前
 - 2月20日（木）自衛隊中東派遣に反対し閣議決定の撤回を求める集会 文京区民センター
 - 3月1日（日）移住労働者との連帯を！マーチインマーチ2020 東池袋中央公園
 - 3月2日11時～郵政本社前集会 非正規労働者と共に闘おう！
 - 3月6日（金）止めよう辺野古新基地建設！辺野古裁判勝利！ 首都圏集会（日本教育会館）
 - 3月13日（金）神奈川春闘総行動
 - 3月14日（土）福島県民集会福島市
 - 3月20日（金）さようなら原発集会亀戸公園
 - 4月3日（金）20けんり春闘総決起集会&銀座デモ 日比谷コンベンション
 - 5月1日（金）第91回日比谷メーデー
 - 5月3日（日）9条改憲NO! 憲法大集会 有明防災公園
- 上記以外に、各地方・ブロックでの春闘行動が予定。



2月14日昼 けんり春闘第一波行動で経団連へ200名で抗議の声を上げた。また郵政ユニオンの非正規労働者150名が差別是正を求め全国6つの地裁に午前中集団提訴した報告があった。後日長崎で4名の提訴がある。

2月14日昼にはけんり春闘スタートでもある経団連前の行動が取組まれた。



春闘開始。
20春闘パンフも作成した。職場討議に活用しよう。

入試差別を認めない 聖マリアンナ医大に抗議する 緊急院内集会開催

2月12日 入試差別を認めない聖マリアンナ医大に抗議する緊急院内集会開催された。

2018年に財務省事務次官のセクハラ事件に次いで8月には官僚の不祥事に端を発し東京医科大学入試で女性に一律減点するという差別が発覚した。その後文科省の調査でも他の医大でも同様な事が行われている事が指摘された。今いくつか裁判も行われている。東京医科大などは事実を認め、私学助成金のカットがなされた。しかし聖マリアンナ大学は今年1月17日になって第三者委員会の調査報告書を公表し、そこには「性別・現浪区分という属性により一律の差別的取扱いが認められる」（例えば2次試験180点満点のところ女性は一律80点！）と結論づけられていたが、大学側は、「一律機械的に評価を行ったとは認識していないが、意図的ではないにせよ、属性による評価の差異が生じ、一部受験生の入試結果に影響を及ぼした可能性がある」との認識に至りました」と不正を否定した。

こんな開き直りは許せないと実行委員会形式により12日参議院議員会館で緊急院内集会が開催された。弁護団の報告、文科省から大学に合理的な説明を求めているとのコメントがあり、続いて、裁判を支援する女性や高校生、大学生の怒り声、現役の医師、予備校経営者の発言などが続き、会場からは引き続き調査をすべきと文科省への要請も出された。文科省は調査の予定はないと後向きな答えだった。議員や政党関係者、報道関係者も多く会場はいつ



東京高裁のマタハラ不当判決に対し、12月24日に続き1月28日雨の中、裁判所への抗議のアップルをおこなった。

第29回全労協女性委員会総会を開催

2019年11月16日、港区立生涯学習センターにて第29回全労協女性委員会総会を開催した。加藤幹事（国労女性部）の司会で開会し中原代表が主催者挨拶を行いました。

第一部は1954年に闘われた全織同盟による近江絹糸人権闘争の記録「立ち上がる女子労働者」のDVDを上映し、外出の自由、仏教の強制反対、信書の開封・私物検査の即時停止などを要求して女性労働者がストライキで闘う実写記録は貴重で映像に見入り、元繊維労連書記の広木道子さんから、戦前戦後の日本経済を支えた繊維産業で働く女性労働者の闘いの歴史を興味深く聞きました。

第二部は柚木幹事の総会議案提案の後に参加者の発言を受けました。日通の不当な雇止めと闘うOさん、米国ユナイテッド航空の解雇と組合差別と闘う吉良さん、アスベスト闘争を闘う村上さんの争議報告に続き、全統一労組千葉市非常勤嘱託員分会の山室さん、郵政ユニオン女性部長の堀谷さん、女性ユニオンの田中さんからは裁判の報告などがあり、広島スクラムユニオンの土屋さんから広島での取り組み状況、ふくしま連帯ユニオンから「ヘルパー立ち上がる」と国賠訴訟を提訴した佐藤さんの報告がありました。青年委員会・西山副代表が紹介され、第三部の懇親会で交流を深めました。

女性委員会代表幹事 中原純子



私のお気に入り

蒸留水を飲んで健康に

私が住んでいる街の水が非常に良くないことが分かり、浄水器を使って水を飲んできましたけれども、浄水器にも限界があるらしく、今年から蒸留水を飲むことにしました。

最初は蒸留鍋を使って複雑にホースを幾つか使って水を作りましたが、今は蒸留ポットを使って楽に水を作っています。蒸留後、ポットの下に残るものを見ると驚きます。そして、蒸留された水は接触する物質を吸収する機能があるため、プラスチック容器ではなく、5Lの梅酒漬けガラス瓶に水をいれ毎日飲んでいきます。不思議なことに蒸留水を飲み始めて、最初の3日間はベッドから起きれないほど痛みが出ました。蒸留水についてインターネットで調べたところ、最初には要らない不純物が細胞から出され、体中を回るから痛みが出るそうです。

しかし、それが排出された後は体が楽になるということでした。蒸留水は体内に蓄積されているカルシウムを排出することに貢献する水であり、海外の病院ではアルツハイマーの患者さんに飲ませたり、関節炎に最も効果がある治療方法として飲ませたりするのを知りました。個人的に蒸留水を飲んで驚いたのは、二日酔いが一切なくなったことです。肝臓がキレイになったということなのでしょう。とにかく、お酒に弱い私にとっては嬉しいことです。

全国一般東京南部 クッキ・チュー



ばいだった。本来受かるべき女性が落とされ、落ちるべき男性が受かるというのでは、安心して医者にかかれない。過労死が出るほどの医者の長時間労働が一向に改善されていない！(Y)

い職場であることも大問題だ。加えて差別を認めない聖マリアンナ医大には私学助成金が満額いくとしたら、盗人に追い銭のようなものでさらに許せない！(Y)